

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： （ 高等学校 現代の国語 / 第一学習社 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると共に、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|------------------------|--|--|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深める。 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|--|--|------------------|------------------|---|---|---|---|----------|---|
| | | 話 す こ と | 書 く こ と | | | | | | |
| A 話し方の工夫 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の置かれた状況と相手との関係を判断し、表現する。 ・どうすればより正確に相手に伝わるかを考え、判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の置かれた状況と相手との関係を客観的に考察する態度を養う。 ・メッセージ内容を主体的に深めるようにする。 ・相手の言葉から自分のいたいことが相手に効果的に伝わったかどうかを判断できるようにする。 | ・書き言葉と話し言葉 ・場面に応じた言葉遣い ・より伝わりやすい表現方法 | ○ | | 【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 【思考、判断、表現】 ・目的や場面に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、話し合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、使おうとしている。 ・積極的に婉曲的な表現を使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、説明や発表をしようとしている。 | | | | | 5 |
| B 「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 【知識及び技能】 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 | ・論の構造把握 ・主張に説得力を持たせる | | ○ | 【知識・技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・推論の仕方について理解を深めている。 【思考、判断、表現】 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方などをともに、表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 | | ○ | ○ | ○ | 8 |
| C 水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論の展開に注意し、情報を相互に関係づけながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章全体の見通しを持ち、構成を把握する。 | ・対比 ・段落構成 ・語彙 | | ○ | 【知識・技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考、判断、表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報と一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 | | ○ | ○ | ○ | 4 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|----|
| <p>D 「間」の感覚 (高階秀聖)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 | <ul style="list-style-type: none"> 対比 類比 推論 | ○ | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 推論の仕方について理解を深めている。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| 定期考査 | | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>E 羅生門 (芥川龍之介)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 比喩などの修辞を理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取るなどして、自分の意見や考えを論述する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書の意義と効用を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 行動、心理をふまえた場面理解 論理とその影響 推蔽 | ○ | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 推論の仕方について理解を深めている。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| 定期考査 | | | | ○ | ○ | | 1 |
| <p>F スピーチで自分を伝える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いをする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、伝え合う内容を検討する。 自分の立場や考えを明確にするとともに、話の構成や展開を工夫する。 聞き取った情報を整理し、自分の考えを広げる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容をもとに、効果的にスピーチをする。 積極的に評価する | <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特性 内容選定 | ○ | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にしている。 相手の理解が得られるように表現を工夫している。 話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|---|---|---|---|---|----|
| <p>捉え、要旨を把握する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 自然に対する人間の態度について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 雅論の仕方について理解を深めている。 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>【思考、判断、表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容や構成を叙述を基に捉え、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 既習の評論と粘り強く読み比べ、共通点を説明しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | | 1 |
| 合計 | | | | | | | | | | 70 |